



## SE-31 小型・超音波センサ



### モデル SE-31 小型・超音波センサ

緻密で用途の広いSE-31センサはファイフの超音波センサでは最も小型で周囲温度に対するスタビライザ回路を内蔵している為、超音波ながら高精度が得られます。透明フィルムから不透明ウェブの広範囲に使用できます。

光学センサと異なり、外乱光に影響されない為、複数のセンサを使用する必要が無く、ダウンタイムの減少、生産性の向上に寄与します。超音波によるウェブエッジ検出の為、感光紙／フィルムにも影響を与えません。内蔵された補正回路により、対温度変化による出力変化、及び既存設備からの超音波の影響は極限に押えられ、極薄透明フィルム（1.4ミクロン）のエッジを容易に検出できます。

### アプリケーション

センサから出力された音波は、ウェブエッジにより、反射されるか、吸収されます。ウェブエッジの外側を通過した音波のみがレシーバーにより実際のウェブエッジとして出力されます。赤外線センサを使用する場合不透明と思われるウェブでも、薄物になると赤外線がウェブを通過し、ウェブエッジ信号として出力されるので実際のウェブエッジの位置と異なった出力となります。この事は、超音波センサを不織布のエッジ検出に使用すると同じ事になり、真のエッジ検出とは言えません。従って、透明不透明にかかわらず、光や



音波の透過の無いフィルム、紙等には最適なセンサと言えます。

SE-31は、25.4mmのセンサギャップが標準で、エッジガイド、センターガイドに使用できます。比例出力帯（プロポーショナルバンド）は、約7.6mmです。

### 〈設置に関して〉

SE-31に対しては、各種の取付ブラケットやセンサ移動装置を準備しております。他の数あるファイフセンサと同様の取付方法が可能ですが、各アプリケーションに準じた取付金具や移動装置も可能です。もちろん、既存設備のSE-31によるアップグレードも可能です。

### 〈概要〉

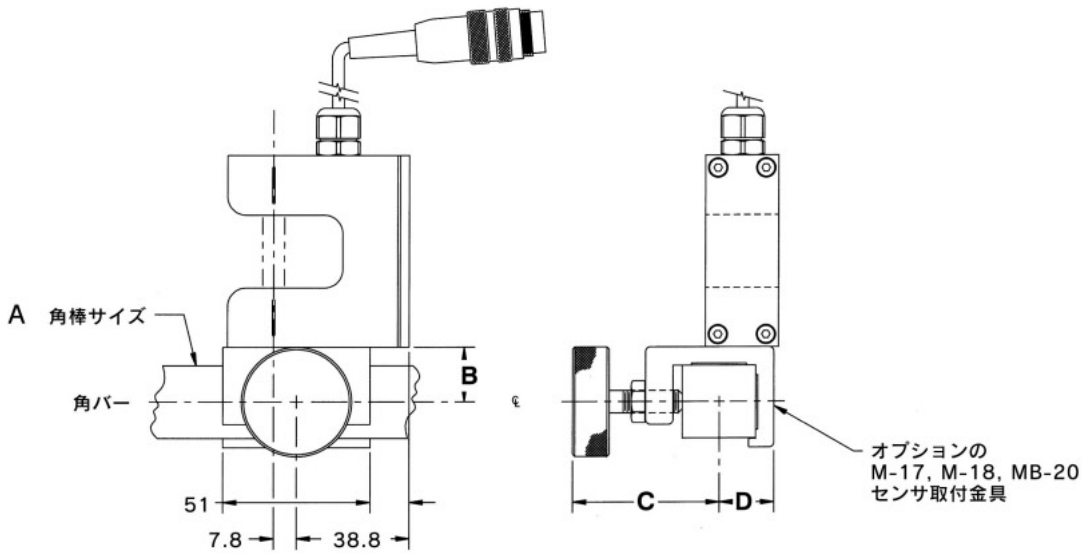
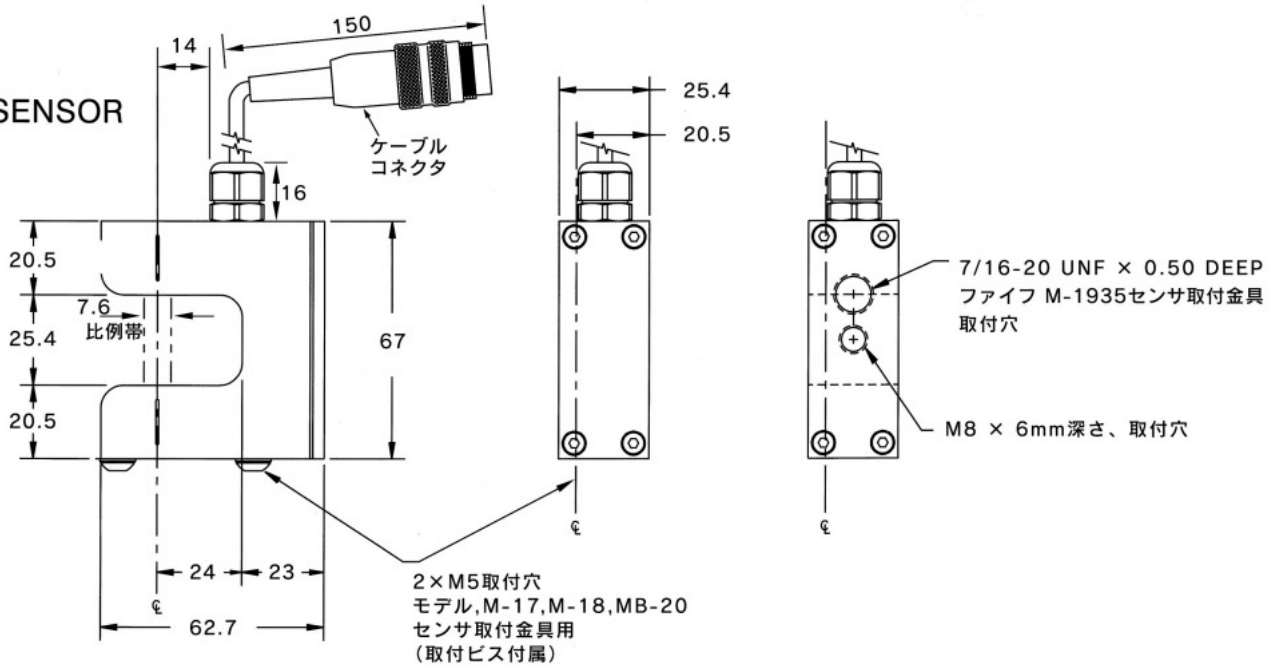
- マイクロプロセッサ内蔵設計（特許）
- 超極薄フィルム／超透明フィルムの検出
- 周囲の外乱光の影響を受けない

- 耐静電気放電（ESD）
- 温度補正回路内蔵
- ウェブプレーンチェンジに反応しない
- スプラッシュ放水

### 〈仕様〉

- 自重：168グラム
- 使用温度範囲：5℃～60℃
- 電源：10～15VDC
- 出力：0～10mA
- 直線性：5%、公称最大誤差
- プレーンチェンジ：5%公称最大誤差
- 静電気放電保護：IEC 801-2

# SE-31 SENSOR



## 備考

1. 数値はmm
2. 出力は比例帯のウェブ位置に比例します。

SE-31 センサ取付例  
M-17, M-18, MB-20 取付金具の場合

センサ 取付金具	角バー		B	C	D
	A サイズ	最大長			
MB-20/ M-17	20/19	1524	16	38	16
M-18	25	2184	19	19	19